

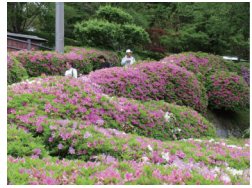
柳井お宝マップ

伊保庄地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2020.5修正

0 500 1000m



小島神社

現在の祭神は保食神とされているが昔鳥の霊を祭ったものといわれている。すばらしい鳥が生まれた所ということで「鳥王庄」と名付けられ、また「伊保庄」になったという伝説がある。また、五色の鳥の霊をまつり、「五鳥宮」と名付けられ、いつのころか小島神社と呼ばれるようになったといわれる。小祭は、5月14日、7月24日、10月14日に輪番制で行われている。

専称寺(浄土宗)

天正年中(1573~91年)願行善喜が開山。境内にある影向の井池は名水で、この井戸の水を昆沙門天に供えて服用すると薬効あらたかたといわれている。庭園は江戸時代後期につられたもの、イチョウの大木や、寺周辺のモミジ、ツツジ等は、やないの名木に数えられている。境内に1718(享保3)年建立の等身大の巡行姿の地蔵がある。

宗寿院(浄土宗)

もとは願行寺といわれ、1618(元和4)年開基。一時専称寺へ合併されたが、1872(明治5)年現周南市の宗寿院を引寺して再興。手水鉢に壺状穴がある。伊保小学校(現、柳井南小学校)発祥の地。



- 伊保庄地区をまわると知りた時は、以下の文献をダウンロードし、
- 『伊保庄の歴史』村上省吾、2000年
- 『伊保庄の地蔵さん(柳井市郷談会誌第2号)』尾川恒祐、1977年
- 『黒島物語(柳井市郷談会誌第18号)』国宗一、1994年
- 『巻頭記 賀茂神社(柳井市郷談会誌第21号)』中村正樹、1997年
- 『おしらせ 伊保庄公民館、2000年~』
- 『柳井図書館叢書第九集 中世の柳井について』柳井市立柳井図書館、2004年

旧旭橋(小田橋)
1878(明治11)年初めて架けられ、1910(明治43)年まで通行料を徴集していた。現在の橋は1932(昭和7)年架け替えられたもの。現在は通行不可。

土徳石川排水機場
高潮対策のため設置された。

小田浜塩田跡
1833(天保4)年開作。1955(昭和30)年まで塩田だった。跡地には小田小学校などが建っている。

赤石神社(巖島神社)
祭神は市杵島姫命、創建は不明。海岸に屏風岩があり、般若姫が大島瀬戸で沈んで後、旧暦大みそか夜半に瀬戸から火の玉が般若寺にある途中、この岩でひと休みするという伝説がある。小祭は、3月17日の祈年祭、7月27日の夏祈禱、10月17日の本祭りの3回ある。

黒島遺跡
砂浜に立地する縄文遺跡。

黒島神社
伊保命を勧請、創建年代不詳。小祭は5月12日と10月12日。境内にはイヌマキの大木、森の中にはスサギ、ヤマモモ、コキモチ、ヤなどがあり、やないの名木に数えられている。

ガザンセト伊保庄マリナパーク
もとは「黒島海水浴場」と呼ばれていて、1993(平成5)年、海浜公園として整備された。夏の海水浴シーズンのみならず、一年中訪れる客が多い。

老猿の三連珠
擬宝珠が3つ連なっており見える猿母のついた石。1824(文政7)年、河内山石衛門が見つけ、「三連珠」と名付けられた。伊保庄に滞在した二条義興卿がこの石を見て「伊保庄御代のためによす代や、かみのすかたも魂ちはかなる」と詠んだ。

正覚寺(浄土宗)
正覚年(1346)年開創。もとは真言宗であつたが、1533(天文2)年、浄土宗に改宗。本尊は阿弥陀如来。

小野天満宮
1825(文政8)年勧請。一時賀茂神社に合祀されたが、1934(昭和9)年旧社地に遷祀。小祭では、氏子地区の者が順次御輿を次の地区に送る。

星の見える丘工房
天体観測施設、陶芸設備等を備えている。

鳥島
無人島、ガザンコロニーが確認されている。村上善徳の「近境・近境」(新潮社)に載っている島。

若山牧水歌碑
1925(大正14)年牧水が夫人とともに九州方面への旅行の途中、柳井駅で下車し、村上善徳(可卿)を訪れた時に「千島こそこれこそよれば見ゆ」と詠んだ。1944(昭和19)年村上可卿が建てた。

雄心の碑・近藤秀美歌碑
国立病院は、1945(昭和20)年の終戦まで陸軍西部第八部隊のあった所で、同部隊の慰霊碑「雄心」が1978(昭和53)年に建立された。同部隊員の近藤秀美の自筆の歌「柳子の葉の偽装のさきこの埠頭の明けのぼりけり」が刻まれている。

賀茂神社 拡大図参照
平安後期、堀河天皇の代に京都賀茂神社の分霊を受けて社殿が造営されたのが始りとされる。祭神は別雷神、玉依姫命、三毛入野命。7月に夏祭り。10月8・9日には神輿の御神幸がある。二の鳥居は市の文化財に指定されている。境内の中村八幡宮裏手の小川に、村上星洲の句碑「巖上に浪翁を置いて天高し」がある。境内にあるカ石は、山口から博で運ばれた。ネズミ、シラカシ、オガタマキ群、ヤシロハヤシロの名木に数えられ、社叢全体が市の天然記念物に指定されている。

大古産
代官からきた地名といわれている。平家の落人との娘との悲恋物語が「夜泣き松」(松久)伝説として語り継がれている。

岩政の石風名

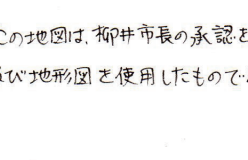
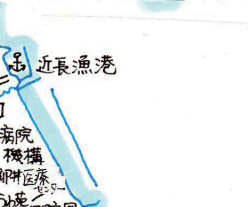
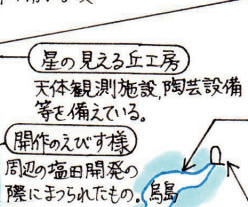
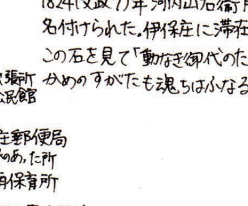
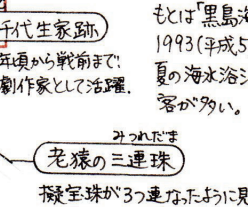
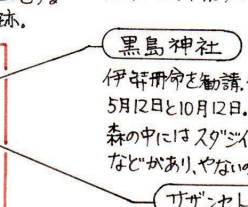
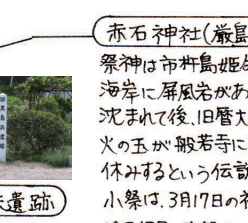
賀茂神社

賀茂神社

賀茂神社

賀茂神社

賀茂神社



この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)